

令和元年度

施政方針

「ともに力を合わせ、ふるさと高石のさらなる発展をめざして」

6月に開催された第2回高石市議会定例会において、阪口市長は「ひとにやさしい育みのまち」、「ひとにやさしい暮らしのまち」、「地域活力あふれるまち」、「ひとにやさしい安全・安心なまち」、「環境にやさしいまち」の第4次高石市総合計画に基づいた5つの目標に沿って、令和元年度施政方針を発表しました。その概要をお知らせします。
※施政方針の全文は市ホームページでご覧いただけます。

- ひとにやさしい育みのまち -

■羽衣に新支援センター開設

「高石市まち・ひと・しごと総合戦略」の中でも「子どもを産み育てやすい環境を整える」ことを基本目標の1つと位置づけており、今年8月完成予定の羽衣駅前再開発ビルには新たに4番目の子育て支援センターが開設されます。本市の北の玄関口となる羽衣駅で子どもたちの遊び場の提供や、育児相談、子育て世代交流の場となるサークル支援など、育児に関わるさまざまな支援を行い、子育て世代の方々に応援します。



■妊娠〜子育て期をサポート

妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援をワンストップで行うため、庁内に「子育て世代包括支援センター」を設置します。妊産婦の健康づくりのさらなる充実のため妊産婦歯科健康診査の実施のほか、妊娠期においては、多胎妊娠に対する健診の拡充を行います。また、出産期においては、産後うつ等の早期発見や重症化を予防するため、産婦健康診査を実施し、母子に対する健康管理の充実と経済的支援等を図ります。



■学校教育の拡充

子どもたちを育むために必要な力として、次の3点を重要課題と考えて学校教育に取り組みます。

▼情報化

タブレットを活用した授業の促進など、今後、ICT機器を使った学習活動のより一層の充実を図ります。

▼グローバル化

国の教育課程特別校の認定を受けて実施している小学校1年生からの外国語教育を継続し、国際人としてグローバル社会を担う子どもたちの英語力向上に努めます。

▼学力の向上

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、子どもへの丁寧な指導を行うために「学びんぐティーチャー」による少人数や複数教員によるきめ細やかで、柔軟な指導方法を展開します。また、中学校で実施している「高石っこ学び舎」事業を小学校においても実施します。

- ひとにやさしい暮らしのまち -

「健幸のまちづくり」

官民連携による「高石市健幸のまちづくり協議会」を立ち上げ、平成29年から対象者を20歳以上に拡大して再スタートした健幸ポイント事業は、約3000人ももの市民の方にご参加いただいています。今後は、政府の方針として健康づくり施策の強化が位置づけられることを見据えながら、本事業の成果をふまえ、これからも健幸のまちづくりのトップランナーとして、健幸ポイント事業を継続します。



「我が事・丸ごとの地域づくり」

少子高齢社会の進行や生活困窮世帯の増加などにより複合化・複雑化した地域生活課題を把握して解決を試みる地域共生社会の実現が必要です。本市では、国の支援も頂きながらスタートしたアプラたかいしにおける集いの場や相談会等に加え、昨年10月からは、各小学校区の市内7郵便局と連携した「暮らしのサポート」事業を実施しました。今後も引き続き、我が事・丸ごとの地域づくりを推進します。



「健幸への意識向上」

筋力トレーニングにもつながる「健幸づくり教室」については、昨年度から、より多くの市民の皆様が気軽に健幸づくりのきっかけとしてご参加いただけるよう、「健幸づくり教室 mini」として無料の入門版を実施しました。今後ともこれと並行し、健幸フェスティバル&高石マルシェなど各種イベントにおいて健康づくりの重要性を啓発します。



「健幸リビング・ラボ」

産学官が連携し、市民とともに健幸づくりの活動につながる取り組みを考えることで、市民の健康増進のきっかけとなることをめざし、市民ニーズに合わせた取り組みを推進します。今年度はスポーツ庁の支援も得て、認知症予防を促進するため、認知機能の維持向上に効果が期待できる「健幸ダンス教室」を新たに実施します。



- ひとにやさしい安全・安心なまち -

■さらなる防災力の強化

南海トラフの地震津波等に備え、これまで高砂1号線の液状化対策、津波避難タワー、防災機能を有する総合体育館「カモンたかいし」の建設、地震・津波総合避難訓練、さらに臨海企業の施設耐震化の促進等、ハード・ソフト面にわたる防災対策の充実・強化に取り組んでまいりました。今年度も8月に「防災シンポジウム」を開催するとともに、自主防災組織と防災まちづくり勉強会等を開催し、第9回となる地震津波総合避難訓練を「津波防災の日」の11月5日に、市民の方や臨海企業にも参加いただき実施します。



■地域に合わせた防災対策を

今年度、高石消防署高師浜出張所の改修整備を行い、10月から救急体制の増強を行うなど、火災、想定される大規模災害や救急事案の増加などに対応できるよう消防力の強化を進めます。また、昨年の台風第21号における災害応急対策業務の執行体制や対応等をふまえ、今後想定される大規模災害発生時においても、迅速かつ適切な業務執行を行う体制を構築するとともに地域の課題や特性に応じた自治会等を対象に自主的な地区防災計画の策定を強力に支援する体制の構築を推進します。



■蓮池公園の整備

地域防災計画に基づき、防災機能を備えた公園として「蓮池公園」の整備を進めるべく、本市都市計画審議会の答申を得て平成28年度に都市計画決定を行い、現在、基本計画を策定しています。今年度は基本設計を行い、大阪府や国と協議・調整を行いながら事業認可の取得を進め、用地買収にも着手するなど早期完成に向け取り組みを加速します。



■防犯に向けての取り組み

近年、子どもが被害者となる事件が発生しており、これまで各地域住民による見守り活動や街頭犯罪、登下校時の防犯対策として防犯カメラの設置を進めています。また、高齢者に対する特殊詐欺防止に向けた取り組みとして悪質電話防止装置の無料貸出しを行ってきました。今後も高石警察署と連携しながらより安全・安心なまちづくりをめざした取り組みを進めます。



- 地域活力あふれるまち -

■生まれ変わる羽衣駅前

今年8月の再開発ビル完成に向けて施行者である再開発組合と連携を図りながら着々と工事を進めています。南海本線羽衣駅からJR東羽衣駅へ接続するペデストリアンデッキを整備することにより、通勤や通学の乗降客の安全確保と利便性の向上、さらに関西国際空港のインバウンドにより急増する外国人観光客のアクセス向上も図り、両駅周辺の活性化をめざします。

■高石シーサイドフェスティバル

ブランド戦略・地域活性化の一大イベント「高石シーサイドフェスティバル」は、今年で7回目を迎え、年々来場者数も増加しており、昨年は約3万9000人もの人出で賑わいました。今年は8月18日に実施する予定で、今後ともさらに継続発展させていきます。



- 環境にやさしいまち -

■喫煙等への対策

受動喫煙、路上喫煙、ポイ捨ての防止などの喫煙等対策については、望まない受動喫煙による健康被害の防止、喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図るため、高石市受動喫煙・路上喫煙等対策検討委員会での議論、答申をふまえた新たな条例制定を行うなど、市民等の健康増進及び安全でかつ快適な生活環境の確保に努めます。

■プラスチックごみゼロ宣言

ごみの適正排出に向けた周知・啓発のさらなる徹底、エコバッグの使用推奨など、プラスチックごみの削減等に取り組めます。

今後プラスチック製容器包装の分別の徹底等、ごみの減量・再資源化へご協力いただけるよう、環境フェアなどにおいて積極的に周知・啓発を行うなど、資源循環型社会や低炭素社会の形成に向け、より一層取り組んでいきます。

市長あいさつ



これまで本市におきましては、次にわたる財政健全化計画に基づき、厳しい行財政改革に取り組んでまいりました。

初春の令月に気淑(きよ)く風和(やわら)く、「令和」の新時代を迎え、私どもも行政と議会、市民の皆様が、ともに力を合わせ、さらなるふるさと高石の発展をめざし、「和の精神」をもって頑張つてまいりたいと存じています。

引き続き、議会と市民の皆様の間でのご理解とご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

阪口伸六